

岡山商科大学孔子学院端午節交流会を開催

5月25日、岡山商科大学孔子学院のスタッフが岡山県立津山商業高等学校に赴き、端午節交流会を開催した。はじめに黎曉妮学院長が開会のあいさつをした。



高大連携の一つとして開催した今回の交流会では、孔子学院の佐々木皓平事務局長が司会を担当し、韓雲冬日本側副学院長が講義をした。韓副学院長はご参加くださった生徒に中国の端午節の由来、屈原の伝説、そして端午節の風習——ヨモギをつるしたり、粽（ちまき）を食べたり、ドラゴンボートの競漕をしたりすることなどについて詳しく説明した。会場では端午節の五色糸や香袋(においぶくろ)などを展示し、粽の作り方を説明した。講義の後、端午節に関するクイズも行った。



端午節の風習を紹介した後、韓副学院長はさらに中国語の基礎知識、発音の法

則、簡単な日常会話用語などを紹介し、これから実施される中国文化遠隔講座のための準備を整えた。また、孟海霞中国側副院長が岡山商科大学と提携校である大連外国語大学の紹介ビデオと組み合わせて説明し、国際化人材育成の重要性を示した。



楽しい雰囲気の中で端午節交流会が行われ、参加者たちは言語と文化に対する理解を深め、その真剣な態度も称賛すべきものである。



執筆：朱風・孟海霞

2024年5月27日